

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	251006	事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
日本化学会発行論文誌の国際競争力強化		公益社団法人 日本化学会	常務理事 川島 信之
学術刊行物の名称			(略称)
Bulletin of the Chemical Society of Japan / Chemistry Letters			BCSJ / CL

【平成 27 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
○ A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>BCSJ は 90 年、CL は 44 年の歴史があり、二誌の高い学術水準に相応しい、国際的 visibility 向上を目指した真摯で有効な取り組みがなされていると高く評価できる。</p> <p>特に、「欧米大手出版社の枠組みには縛られない」独自の活動で成果を上げつつあること、また編集・出版体制の強化・国際化において、2 誌の密接な協力体制を築いたことは重要である。独自の取り組みによるグローバルな著者へのマーケティング活動、読者数増強のためのグローバルな論文情報発信も着実に進められている。</p> <p>残る事業期間での十分な目標達成実現とともに、本プロジェクト終了後の新たな展開を目指した企画も進めて頂きたい。そのためには、例えば、優れた論文等の周知を目的とするメールやウェブ等での配信に関して、できるだけ定量的にその成果を分析し、将来の利用に供することが望まれる。</p>	